CLAUDE COMMUNITY TOKYO

ハッカソンのアイデアの作り方

〔例〕2日間で作るものを決めるまで

公開
2026年11月20日

著者
岡本賢

この資料について

〔例〕この見本は report-kit のすべての書き方を一度ずつ使っています。引用と出典は形を示すための仮のもので、実在の文献ではありません。

〔例〕アンバサダー個人による独自制作資料です。公式資料ではありません。

目次

はじめに 3

作るものを決めるまで 4

第 1 部　作るものを決める 5

第 2 部　発表で伝える 11

付録 11

いいアイデアは、ひらめきより手順から生まれるのでしょうか。この見本は、2 日間のハッカソンで Claude と組んで作るものを決めるまでの手順を、例として並べたものです。

要点

- 最初の 1 時間は、作るものより困っている人を決めることに使う。
- アイデアは広く浅く出してから、1 つを狭く深く掘る。
- 審査で伝わるのは機能の数ではなく、1 つの場面の変化です。

はじめに

ハッカソンの初日、多くのチームは技術の話から始めます。この見本は順番を逆にします[1]。図 1 は、その違いを形で示したものです。詳しくは説明のページを見てください。



〔例〕第１章

作るものを決めるまで

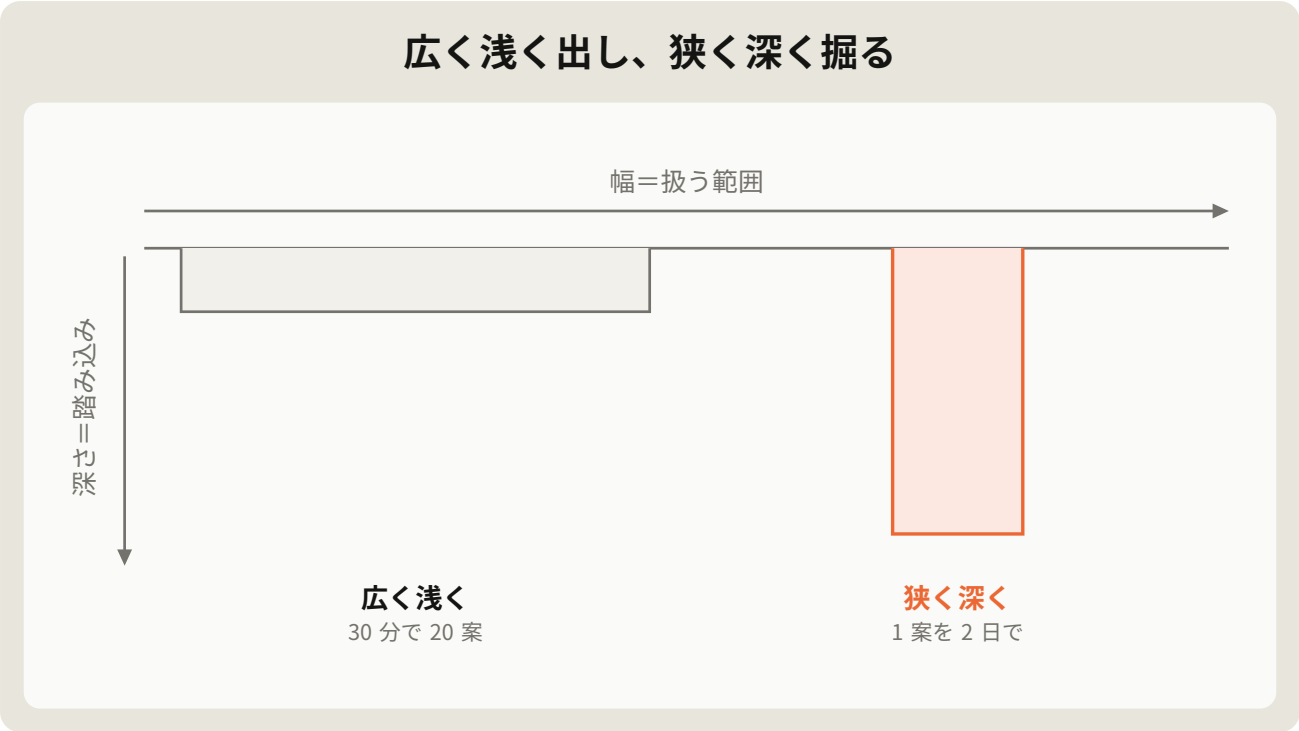


図 1：広く浅く出し、狭く深く掘る
注：〔例〕幅は扱う範囲、深さは 1 つの場面への踏み込みを表す。

第 1 部　作るものを決める

原則 1

原則 1　困っている人を 1 人に絞る

〔例〕全員が同じ 1 人の顔を思い浮かべる。

> 〔例〕The original English sentence goes here, with “quoted words” and an apostrophe’s shape.
>
> 訳：〔例〕ここに日本語訳が入ります。
>
> 〔例〕著者名『書名』（出版年）

ハッカソンでは

最初の 1 時間で、チーム全員が同じ 1 人の顔を思い浮かべられるまで話します。話すときは、`README.md` のような作るものの名前を出さないようにします。

```
# 〔例〕困っている人を1人に絞る
people = ["事務の担当者", "店長", "新人"]
chosen = people[0]
print(f"今日は{chosen}の困りごとだけを考える")
```

よくある失敗　「みんなが使える」ものを目指して、誰の困りごとも解けないまま終わることです。

ポイント：〔例〕困っている人の名前を、実在の誰かで言えるまで決めないこと。言えないうちは、まだ 1 人に絞れていません。

〔例〕Claude に送る依頼

〔例〕私たちのチームは、毎週同じ確認をしている人の困りごとを考えています。
その人が困る場面を、3 つ挙げてください。

どれが一番大きいかは、まだ言わないでください。

その場で書く一行

この作品は ＿＿＿＿＿＿ が ＿＿＿＿＿＿ で困っている場面を変える。

作るものを決めるまで

原則 2　決める順番を守る

決める順番は次のとおりです。

1. 誰が困っているかを決める。
2. どの場面かを決める。
3. 何が変われば成功かを決める。

順番	決めること	目安の時間
1	誰が困っているか	60 分
2	どの場面か	30 分
3	何が変われば成功か	30 分

表 1：〔例〕決める順番と使う時間
注：〔例〕架空の目安。2 日間のハッカソンの初日を想定。

図 4 は材料の組み合わせ方、図 5 は 1 日目の進め方の例です。

- 箇条書きは 1 段だけです。
- 2 段目が必要なら、リストを 2 つに分けます。

〔例〕現場で撮った一枚

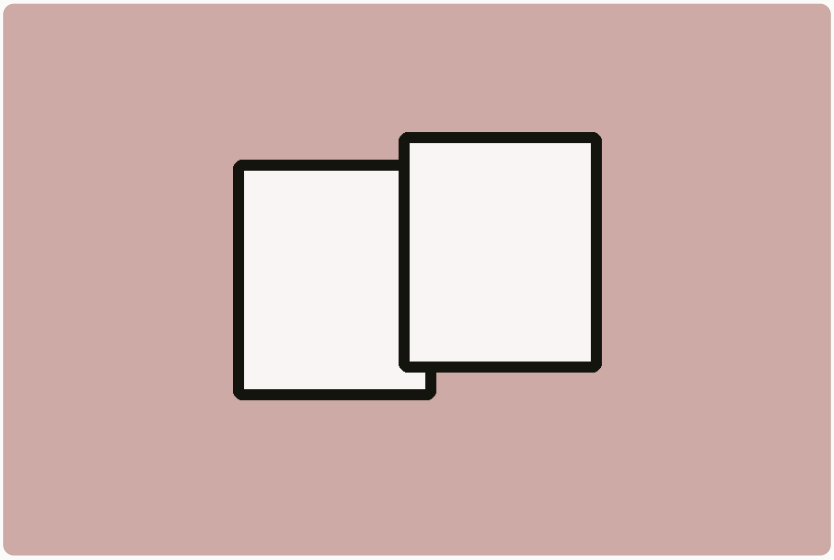


図 2：〔例〕現場で撮った一枚
注：〔例〕見本のための仮の絵。

最初に決めること、あとで決めること

最初に決める

- 誰が困っているか
- どの場面か
- 何が変われば成功か

あとで決める

- 使う技術
- 画面の見た目
- 名前

図 3：最初に決めること、あとで決めること
注：〔例〕見本のための分け方。



図 4：材料を組み合わせて案にする
注：〔例〕joiner に + と = を使う書き方の見本。

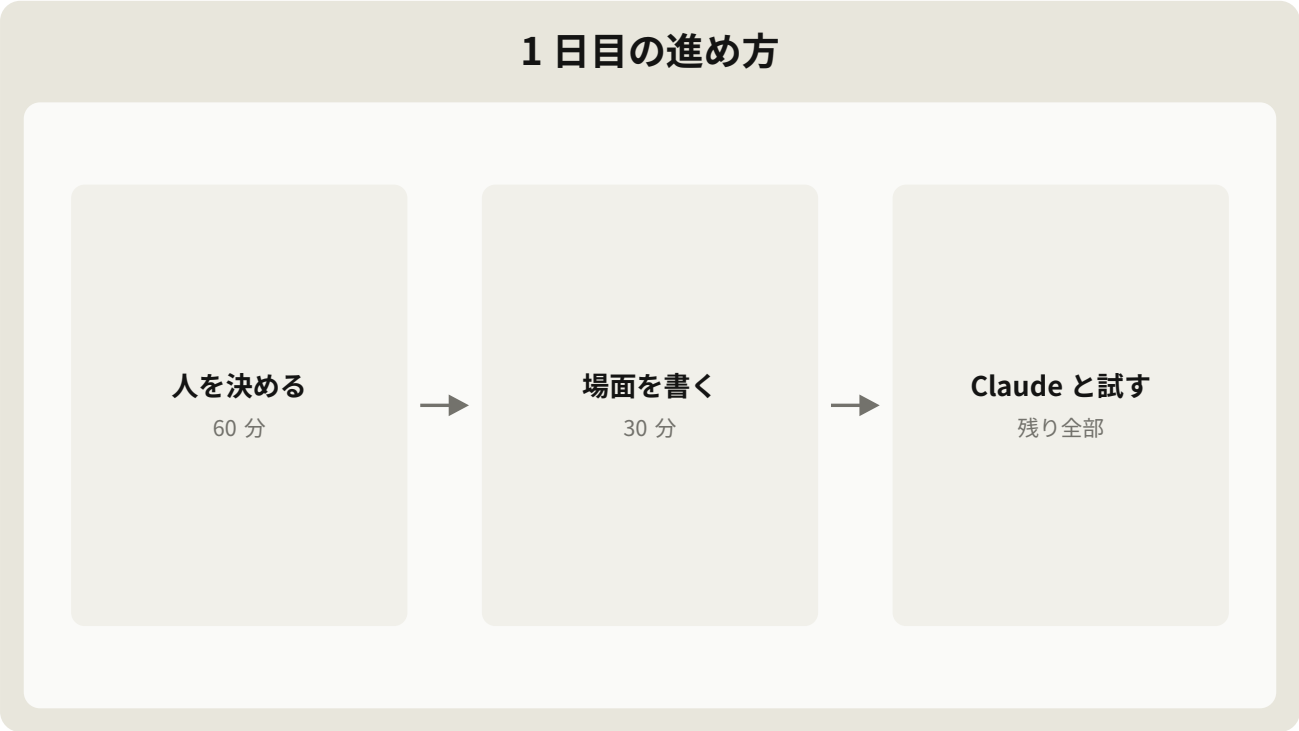


図 5：1 日目の進め方
注：〔例〕時間は 2 日間の大会を想定した目安。

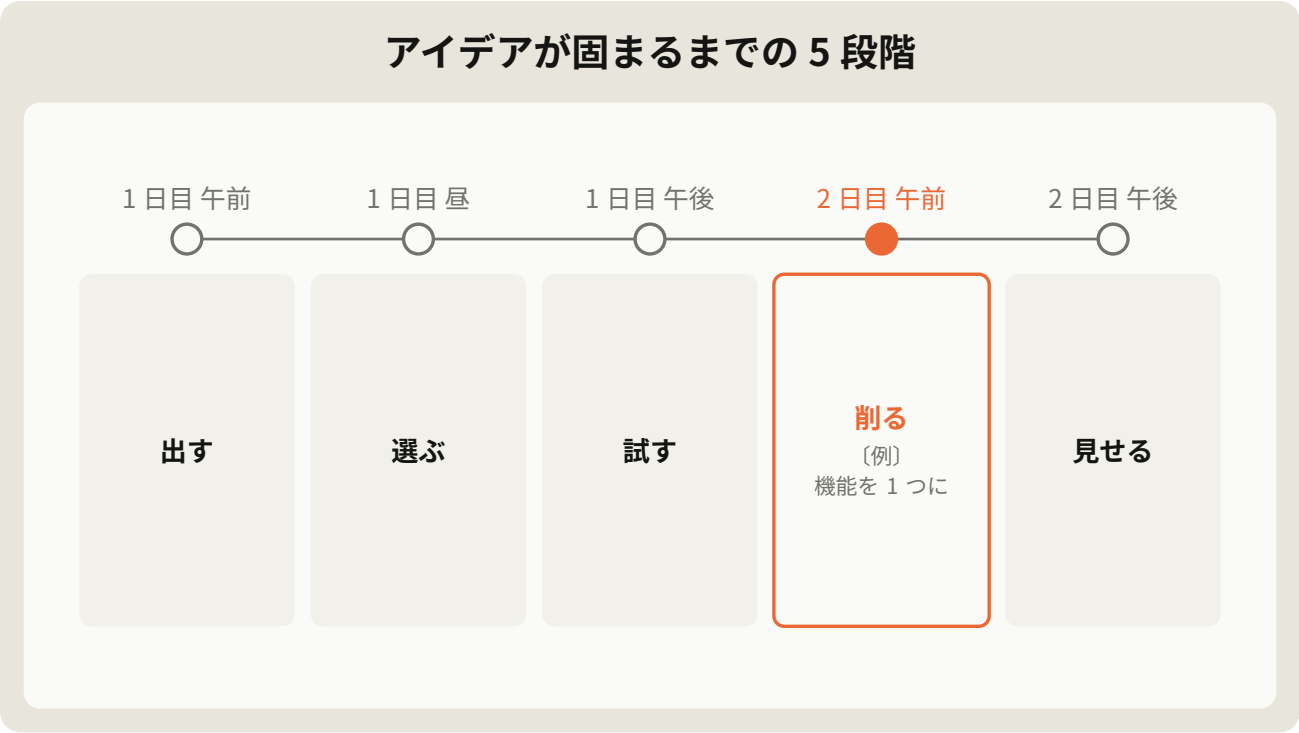


図 6：アイデアが固まるまでの 5 段階
注：〔例〕見本のための段階分け。

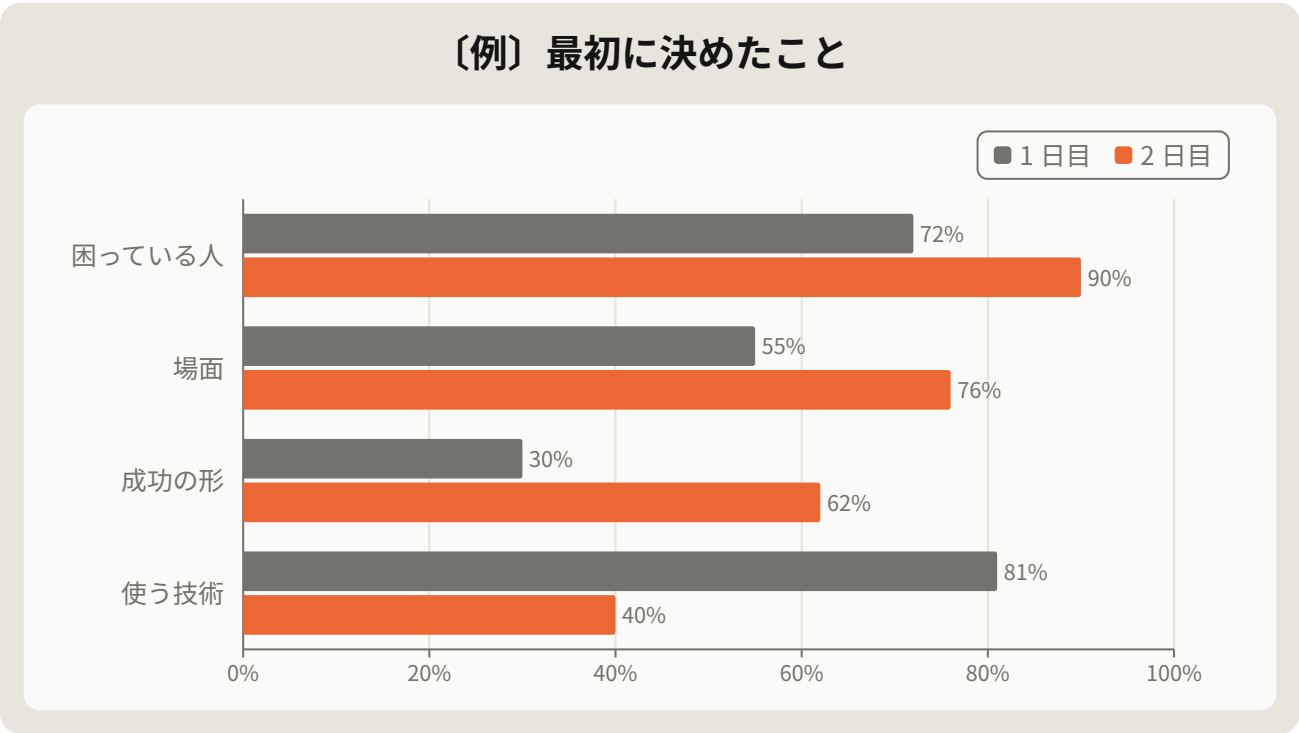


図 7：〔例〕最初に決めたこと
注：〔例〕架空の数字。見本のための値。

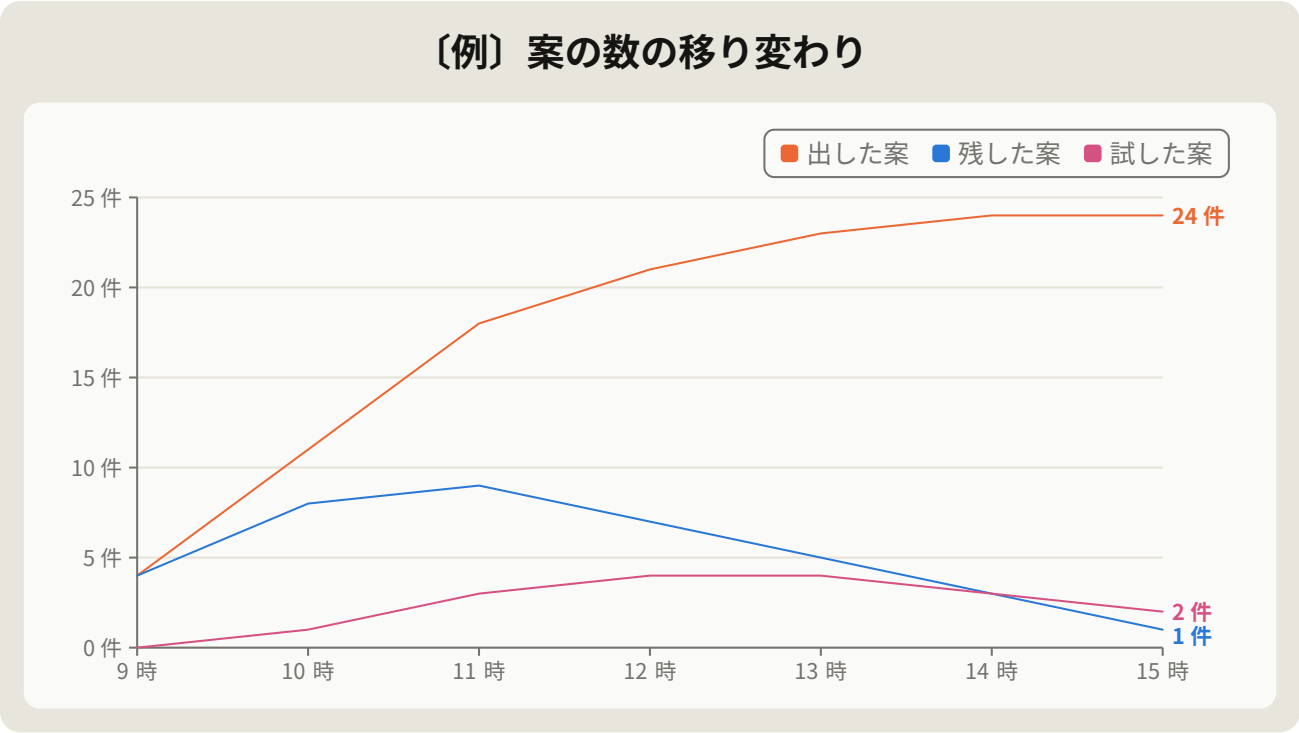


図 8：〔例〕案の数の移り変わり
注：〔例〕架空の数字。見本のための値。

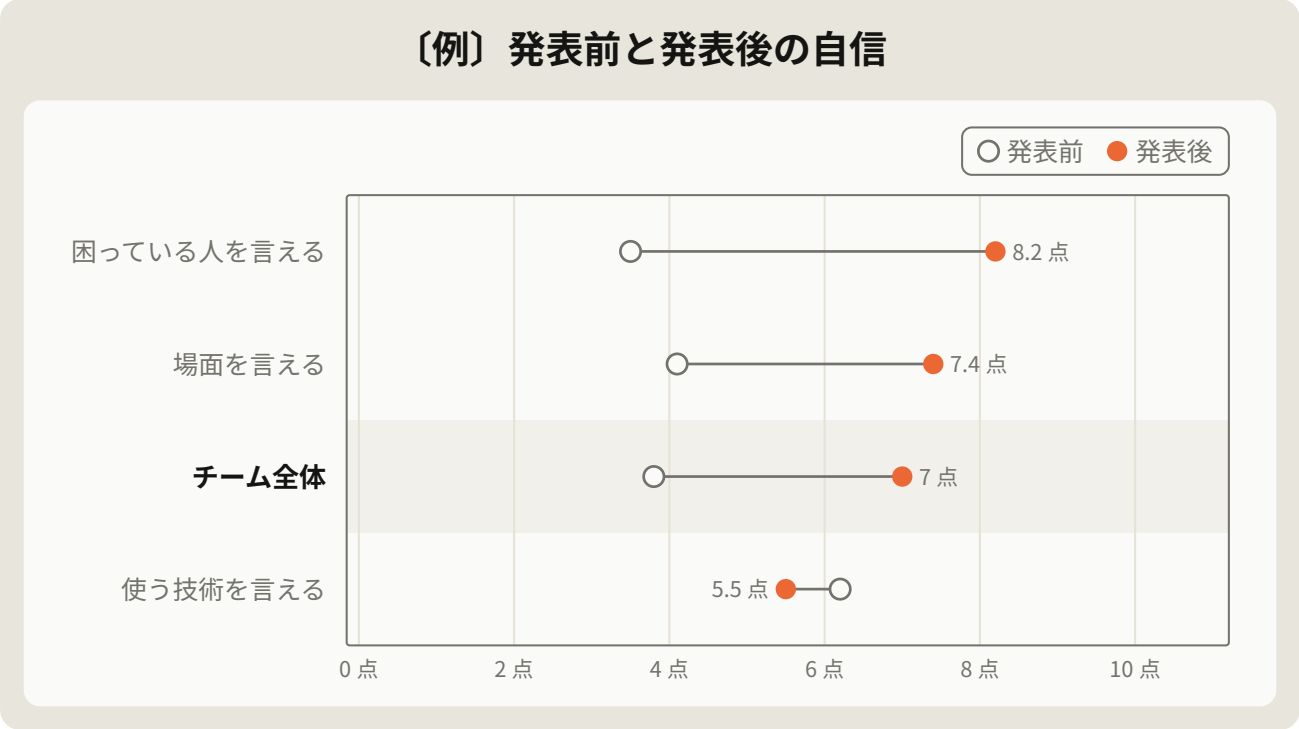


図 9：〔例〕発表前と発表後の自信
注：〔例〕架空の数字。見本のための値。

第 2 部　発表で伝える

作るものを決めるまで

3 行で書くテンプレート

発表の最初に言う 3 行

＿＿＿＿＿＿ は、＿＿＿＿＿＿ のときに困っている。

私たちは ＿＿＿＿＿＿ を作った。

使うと ＿＿＿＿＿＿ が変わる。

---

1 〔例〕ここに脚注の本文が入ります。

付録

作るものを決めるまで

引用するとき

```
@misc{okamoto2026hackathon,
author = {岡本 賢},
title = {ハッカソンのアイデアの作り方},
howpublished = {Claude Community Tokyo},
year = {2026},
month = nov,
url = {https://example.com/hackathon-ideas}
}
```

作るものを決めるまで

出典

〔例〕著者名. 2026. 「題名」. 媒体名. https://example.com/a

〔例〕Author, A. 2025. “Title.” Publisher. https://example.com/b